

PGマルチペイメントサービス

モジュール・タイプ PHP 版

不正防止（R e D）インタフェース仕様

2024年4月22日 1.11版

- ☑ 本書の著作権は「GMO ペイメントゲートウェイ株式会社(以下、弊社という)」に帰属します。
- ☑ 本書のいかなる部分においても、弊社に事前の書面による許可なく、電子的、機械的を含むいかなる手段や形式によってもその複製、改変、頒布、ならびにそれらに類似する行為を禁止します。
- ☑ 本仕様書は加盟店様と弊社との間で締結した機密保持契約において機密情報として規定される情報です。本仕様書の取扱いは機密保持契約の規定に従ってください。
- ☑ 本書の内容は、予告なく随時更新されます。
- ☑ 本書の内容について万全を期しておりますが、万一記載もれ等お気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

目次

1. はじめに.....	6
1.1. 項目の説明.....	6
2. カード決済／不正審査実行インタフェース仕様.....	7
2.1. カード決済と同時に不正審査を行う.....	7
2.1.1. 不正審査の流れ.....	8
2.1.2. 各インタフェース仕様詳細.....	9

変更履歴

2015年8月10日 - 1.00版

- 初版作成

2015年10月23日 - 1.01版

- 入力パラメータを新規追加
RedCurrCd (通貨コード)
RedCustCntryCd (請求先国コード)
RedEbtUserData20 (カード登録後経過日数)
- 入力パラメータに以下の予備項目を追加
RedEbtUserData8, RedEbtUserData9, RedEbtUserData19, RedEbtUserData21, RedEbtUserData22,
RedEbtUserData23, RedEbtUserData24, RedEbtUserData25
- 入力パラメータ名称を変更
RedEbtProdunitprice → RedEbtItemCst
- 入力パラメータの桁を修正
RedItemQty : 8 → 10
- 入力パラメータの型を修正
RedAmt : Long → BigDecimal
RedItemQty : Integer → Long
RedEbtItemCst : Integer → BigDecimal
- 出力パラメータを追加
RedFraudRspMsg

2017年12月11日 - 1.02版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータに「オーダーID」を追加

2018年2月13日 - 1.03版

- ShopPassの桁数を8に変更

2018年9月10日 - 1.04版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータに「カード情報トークン」を追加
- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの「RedAcctNum」「RedCardExpDt」を予備項目に変更

2018年11月12日 - 1.05版

- パラメータの桁数について説明を追記

2019年11月18日 - 1.06版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータに「会員ID」「サイトID」「サイトパスワード」「カード登録連番モード」「カード登録連番」を追加

2020年1月20日 - 1.07版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの「取引ID」、「取引パスワード」、「オーダーID」、「会員ID」の概要を修正
- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの予備項目「RedAcctNum」「RedCardExpDt」の必須欄を空白：省略可能に修正

2021年2月16日 - 1.08版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの「エンドユーザ IP アドレス」の桁を 15→39 に変更 (IPv6 対応)
- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの「エンドユーザ IP アドレス」の備考を修正

2021年9月22日 - 1.09版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの「デバイス情報」「予備項目」の備考を修正
- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの注釈※1を修正

2022年4月19日 - 1.10版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの「デバイス情報」の桁を4000→65535に変更

2024年4月22日 - 1.11版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの「リピータフラグ」の意味を「新規ユーザフラグ」に変更

1. はじめに

本書は、お客様が不正防止（R e D）サービス(以降、「不正防止サービス」と表記)の導入を行う際に、円滑に進められるようにすることを目的としています。

弊社が提供する不正審査サービスは、カード決済と組み合わせて利用することを前提としております。

カード決済につきましては、別紙「モジュールタイプ(PHP 版_カード決済インタフェース仕様)」をご参照ください。

本書では、以下のような表記を使用します。

『』：処理状態または処理区分

【】：インタフェース名

1.1. 項目の説明

ここでは、本書で使用している項目をご説明します。

以下に、各インタフェースの入出力で使用している項目をご説明します。

入出力項目の定義

No	項目	説明
1	ショップ ID	弊社が発行する加盟店様を識別する ID です。
2	ショップパスワード	弊社が発行する加盟店様を識別する ID に対するパスワードです。

2. カード決済／不正審査実行インタフェース仕様

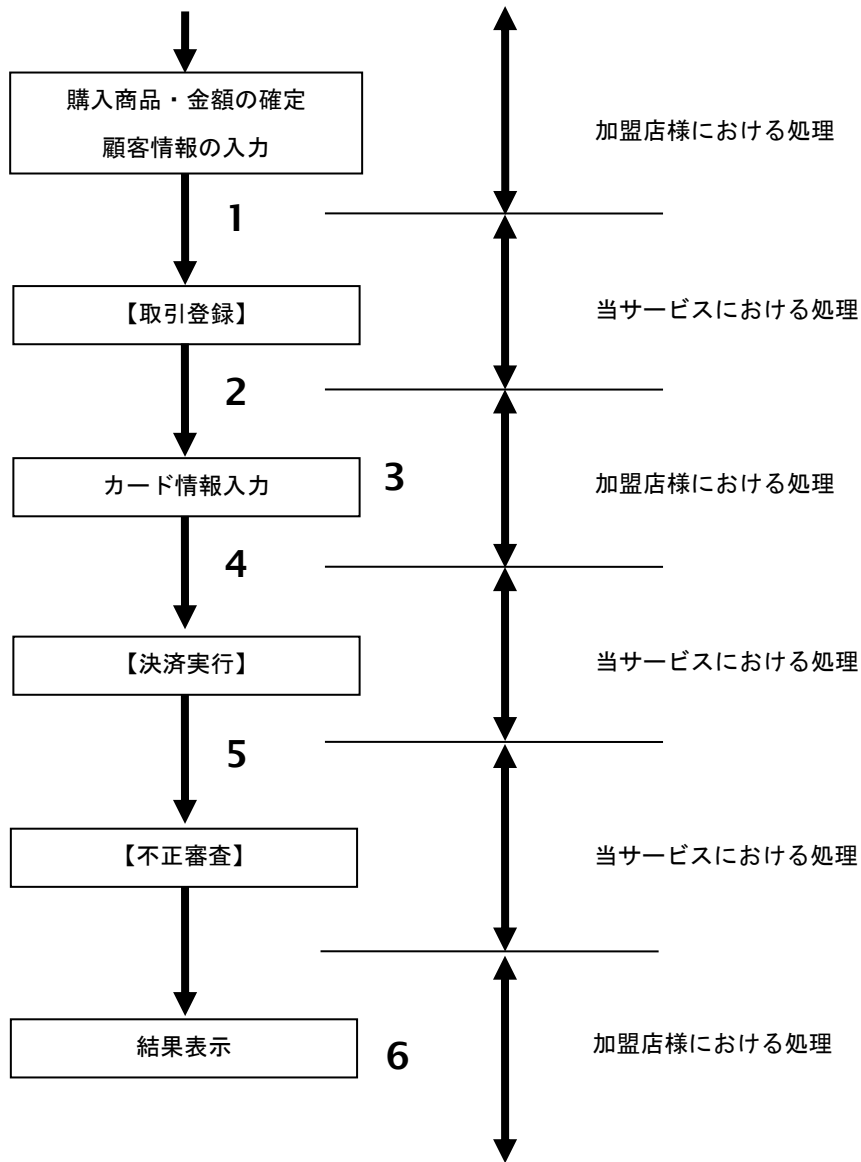
ここでは、処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。各インタフェースの呼び出しは HTTPS 通信にて行う必要があります。

2.1. カード決済と同時に不正審査を行う

カード決済情報と顧客情報をパラメータにカード決済と不正審査を行い、決済結果・不正審査結果を受け取ります。

2.1.1. 不正審査の流れ

以下に、処理の流れをご説明します。



流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、お客様にカード情報を入力して頂く画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたカード情報をもって当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
5. 当サービスは、カード情報を使用してカード会社との通信を行い、カード会社から返却されたカード決済結果を返します。
引続き、加盟店様は入力された顧客情報をもって当サービスの**【不正審査】**を呼び出します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。
また、不正審査結果に応じた対応を行ってください。

2.1.2. 各インタフェース仕様詳細

2.1.2.1. 取引登録

クレジットカード決済の「取引登録」と同一です。

インタフェース仕様については、別紙「モジュールタイプ(PHP版_カード決済インタフェース仕様)」を参照ください。

2.1.2.2. 決済実行

クレジットカード決済の「決済実行」と同一です。

インタフェース仕様については、別紙「モジュールタイプ(PHP版_カード決済インタフェース仕様)」を参照ください。

2.1.2.3. 不正審査

インタフェース概要

カード決済情報(取引情報、顧客情報)を受け取り、不正審査を行い結果を返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecFraudScreening】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecFraudScreeningInput	ExecFraudScreeningOutput	プロトコルタイプの不正審査インタフェースを使用して、不正審査を実施します。

【ExecFraudScreeningInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecFraudScreeningOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	●	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。 AccessID、AccessPass または OrderID で指定することが可能です。本値を設定した場合、本値により指定された取引の決済金額、カード番号、有効期限、与信結果を使って不正審査を実行します。 なお、本値を省略した場合は、RedAmt、RedEbtUserData13、Token または MemberID を設定する必要があります。
4	AccessPass	●	String	32	取引パスワード	また、MemberID を設定する場合は SiteID、SitePass、CardSeq を設定する必要があります。
5	OrderID	●	CHAR	27	オーダーID	決済金額(利用金額+税送料)を設定します。 Token または MemberID を設定した場合は設定が必要です。 AccessID、AccessPass または OrderID を設定した場合は、取引の決済金額が使用されるため本値は設定不要です。
6	RedAmt	●	BigDecimal	10	決済金額	ISO4217 の通貨コードを指定します。 省略時は"JPY"(日本円)が設定されます。
7	RedCurrCd		String	3	通貨コード	予備項目です。
8	RedAcctNum		String	16	予備項目	
9	RedCardExpDt		String	4	予備項目	
10	RedCustTypeCd		String	1	請求先情報有無判定フラグ	請求先顧客情報を渡す場合は、"B"を設定します。
11	RedCustId		String	16	ユーザ ID	加盟店様サイトのユーザ ID を設定します。
12	RedCustFname		String	30	カード名義	カード名義をローマ字で設定します。
13	RedCustLname		String	30	請求先顧客苗字	請求先顧客の苗字を設定します。
14	RedCustAddr1		String	256	請求先顧客住所 1	請求先顧客の住所 1 を設定します。
15	RedCustAddr2		String	256	請求先顧客住所 2	請求先顧客の住所 2 を設定します。
16	RedCustAddr3		String	256	請求先顧客住所 3	請求先顧客の住所 3 (アパート・マンション及び部屋番号) を設定します。
17	RedCustCity		String	20	請求先顧客都道府県	請求先顧客の都道府県を設定します。
18	RedCustPostalCd		String	9	請求先顧客郵便番号	請求先顧客の郵便番号を設定します。 ("-"は含めないでください)
19	RedCustCntryCd		String	3	請求先国コード	請求先顧客の ISO3166-1alpha-3 の国コードを設定します。 省略時は日本("JPN")が設定されます。
20	RedCustHomePhone		String	19	請求先顧客電話番号	請求先顧客の電話番号を設定します。 ("-"は含めないでください)
21	RedCustEmail		String	45	請求先顧客メールアドレス	請求先顧客のメールアドレスを設定します。
22	RedCustIpAddr		String	15	エンドユーザ IP アドレス	エンドユーザの IP アドレスを設定します。 IPv4、IPv6 いずれの形式も設定可能です。
23	RedEbtPrevcust		String	1	新規ユーザフラグ	顧客が新規ユーザの場合は"Y"、既存ユーザの場合は"N"を設定します。
24	RedEbtTof		Integer	7	ユーザ ID 登録後経過日数	ユーザ ID を登録してからの日数を入力します。

25	RedShipTypeCd		String	1	発送先情報有無判定フラグ	発送先顧客情報を渡す場合は、"S"を設定します。
26	RedShipFname		String	30	発送先名前	発送先の名前を設定します。
27	RedShipLname		String	30	発送先苗字	発送先の苗字を設定します。
28	RedShipAddr1		String	256	発送先住所 1	発送先の住所 1 を設定します。
29	RedShipAddr2		String	256	発送先住所 2	発送先の住所 2 を設定します。
30	RedShipAddr3		String	256	発送先住所 3	発送先の住所 3 (アパート・マンション及び部屋番号) を設定します。
31	RedShipCity		String	20	発送先都道府県	発送先の都道府県を設定します。
32	RedShipPostalCd		String	9	発送先郵便番号	発送先の郵便番号を設定します。 ("-"は含めないでください)
33	RedEmpCompany		String	30	加盟店名	加盟店名を半角英数(ローマ字)で設定します。
34	RedEbtDeviceprint		String	65535	デバイス情報	iovation より取得した文字列を設定します。(※1)
35	RedEbtUserData8		String	256	予備項目 8	予備項目です。
36	RedEbtUserData9		String	256	予備項目 9	予備項目です。
37	RedEbtUserData11		Integer	9	再購入日数	前回の購入からの経過日数を設定します。
38	RedEbtUserData12		Integer	9	過去購買回数	これまでに購入した回数を設定します。
39	RedEbtUserData13	●	String	30	与信結果	与信結果のエラー詳細コードを設定します。 (与信 OK の場合は空白を設定してください) Token または MemberID を設定した場合は指定が必要です。 AccessID、AccessPass または OrderID を設定した場合は、取引の値が使用されるため本値は設定不要です。
40	RedEbtUserData15		String	1	郵便局・営業所留フラグ	郵便局留め、宅配営業センター留め、コンビニエンスストア留めの場合は"Y"、それ以外は"N"を設定します。
41	RedEbtUserData16		String	30	郵便局・営業所名	郵便局留め、宅配営業センター留め、コンビニエンスストア留めの場合は、名称を設定します。
42	RedEbtUserData17		Integer	9	ユーザポイント残高	ユーザのポイント残高を設定します。
43	RedEbtUserData18		Integer	9	カード登録変更回数	ユーザのカード情報の変更回数を設定します。
44	RedEbtUserData19		String	30	予備項目 19	予備項目です。
45	RedEbtUserData20		Integer	9	カード登録後経過日数	カードを登録してからの日数を入力します。
46	RedEbtUserData21		String	30	予備項目 21	予備項目です。
47	RedEbtUserData22		String	30	予備項目 22	予備項目です。
48	RedEbtUserData23		String	30	予備項目 23	予備項目です。
49	RedEbtUserData24		String	30	予備項目 24	予備項目です。
50	RedEbtUserData25		String	30	予備項目 25	予備項目です。

51	RedItemList		array		商品情報リスト	
	RedItemHolder		RedItem Holder		商品情報	
	RedItemQty		Long	10	商品個数	商品の個数を設定します。
	RedItemProdCd		String	12	商品識別コード	商品の識別コードを設定します。
	RedItemManPartNo		String	30	商品 IAN/JAN コード	商品の IAN/JAN コードを設定します。
	RedItemDesc		String	26	商品カテゴリー	商品のカテゴリーを設定します。
	RedEbtItemCst		BigDecimal	8	商品単価	商品の単価を設定します。
	RedItemGiftMsg		String	160	商品名	商品の名称を設定します。
52	ExecMode		String	32	実行オプション	以下の値を設定することにより実行動作が変わります。 “CHECK_OVERSEA” : 海外発行カードの場合のみ不正審査を実行します。(※2) 国内発行カードの場合は不正審査を行わず、出力パラメータはすべてブランクを返します。
53	Token	●	CHAR	-	カード情報トークン	カード番号トークン化サービスで取得したトークンを設定してください。 トークンが指定された場合、トークン取得時に指定したカード番号・有効期限が利用されます。 AccessID、AccessPass または OrderID または MemberID を設定した場合は、本値は設定不要です。
54	MemberID	●	CHAR	10	会員 ID	カード登録済の会員 ID を設定してください。 会員 ID が指定された場合、会員 ID に登録済のカード番号・有効期限が利用されます。 AccessID、AccessPass または OrderID または Token を設定した場合は、本値は設定不要です。 また MemberID を設定する場合は SiteID、SitePass、CardSeq を設定する必要があります。
55	SiteID	●	CHAR	13	サイト ID	弊社が発行する値を設定します。 MemberID を設定した場合、本値は必須です。
56	SitePass	●	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。 MemberID を設定した場合、本値は必須です。
57	SeqMode		CHAR	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定します。 0 : 論理モード(デフォルト) 1 : 物理モード MemberID を設定した場合に、本値を指定することができます。
58	CardSeq	●	NUMBER	4	カード登録連番	不正審査に使用するカード登録連番を設定します。 MemberID を設定した場合、本値は必須です。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時 × : 設定不要】

※1 : RedEbtDeviceprint について

本値は加盟店様サイトにアクセスしたブラウザの情報です。

本値を取得するには、スクデット社が提供している「4-1_デバイス情報取得ガイド」を参考に設定をお願いいたします。

※2 : 海外発行カードについて

弊社が保有する国内発行事業者の BIN (カード番号のプレフィックス) に該当しないカード番号を海外発行カードと判断します。

※3：桁数について
 パラメータの桁数は UTF-8 に換算したバイト数です。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ返却します。
2	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ
3	RedReqId	-	String	16	ReD Request ID	ReD Shield 上でのトランザクションのユニーク ID
4	RedOrdId	-	String	16	Order/TransactionID	ReD Shield 上でのトランザクションの識別子
5	RedStatCd	-	String	10	Status Code	詳細なステータスコード 詳細は、別紙「ReD コード一覧」を参照してください。
6	RedFraudStatCd	-	String	9	ReD Shield Status Code	ReD Shield の判定結果 ACCEPT：不正でない DENY：不正 CHALLENGE：疑わしい NOSCORE：判定不能 ERROR：内部エラー ENETFP：接続不可 EIVINF：リクエスト値不正
7	RedFraudRspCd	-	String	4	Red Shield Response Code	詳細な判定コード 詳細は、別紙「ReD コード一覧」を参照してください。
8	RedFraudRspMsg		String	512	Red Shield Response Message	予備項目です。 (空文字が設定されます)
9	RedFraudReclId	-	String	32	Red Shield Transaction ID	ReD Shield のトランザクション ID です。 CSI の検索画面で使用します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】